


第18号

# ぬくもり

社会福祉 ともいき福祉会



■発行所  
社会福祉法人ともいき福祉会  
大田区大森東三丁目15番20号  
TEL 03-5687-6511-1800  
FAX 03-5687-6511-1800  
平成16年10月20日(第18号)  
■印刷所  
大和印刷株式会社  
TEL 03-5687-6111-0700



ある日のショートステイ”杏”日記より

## イルカのショーをみて

# 感激

7月6日、ぬく森新館のショートステイ利用者5名、少し遠出となりましたが、名古屋港水族館へ行ってきました。ユニット・杏での生活で顔見知りになった方々の初めての小旅行にバスの中でも話題がとぎれることがなく、いつの間にか到着。

水族館では、館内の魚を見学しながら、若いころの思い出話なども花が咲き、またイルカのショーをととても楽しく観賞し、利用者の方々も、職員も充実したひとときを過ごす事ができました。参加した方々の感想は「楽しかった」「また行きたい」「ありがとうございました」…お疲れになったのではと心配をしましたが、無用だったようです。



今後も、利用者の方々の希望に応え、外出の機会も増やして、皆さんに喜んでいただけるショートステイサービスにしたいと思っています。さて、「次はどこへいこうか」と、利用者の方々と話し合っている毎日です。

## 特養本館2F

### 「百寿草の間」

「ここに来ると自分の居場所があり、居心地がいい。」と利用者一人ひとりに思っていただけのように日々利用者と向き合いながら生活しています。百寿草の間ができて1年が経ち初めは利用者の方々に百寿草の間という空間を知っていたとき、その中でその方に合った環境を作り居場所を持っていただくことに力を入れてきました。現在は、利用者一人ひとりと深く関わりを持ちその人に合った生活のリズムの中で利用者と職員が一对一で係わりケアを行うことに取り組んでいます。具体的には、個別リハビリとして散歩へ出掛けたり足のマッサージや立位訓練等その方に合ったリハビリを生活の中に取り組み一对一で行っています。また、外出したり利用者の食へたいものを月に一度は百寿草の間で作り皆さんで食べたりとさまざまな事を行っております。今以上にもっと利用者寄り添ったケアができるよう職員一同頑張っております。



## ユニット紹介

## 特養本館3F

### 「和み」

「和み」というユニットが始まり1年が経ちました。「和み」とは利用者がそのユニットで落ち着いて安心して過ごせるようにという思いが込められています。今では「和み」が自分の居場所となり穏やかな表情で1日を過ごされています。今までは、お盆の上に茶わんをのせたまま食べてもらっていましたが、少しでも家庭の食卓に近づけるように、お盆を引いて食べていたたいしています。利用者からは、「食事がおいしくなった」という声が聞かれるようになりました。



## 新館ユニット

### 「椿」

2階の「椿」ユニットでは9月8日に手巻き寿司を召し上がる会を開きました。当日は、利用者の皆さんと共に酢飯や、具材の準備を行いました。利用者は、いつもより笑顔も明るく、思い思いに好きな具を巻いて、食べておられました。



「旅行へ、買い物へ」「サイトウ「しまい倶楽部」」

現在デイサービスサイトウでは、定休日の水曜日に月一回程度特別営業日（サイトウ「しまい倶楽部」）を設け、買い物・お茶会・日帰り旅行など通常のデイ

サービスのサービにはない様々な企画で皆様にお楽しみをいただいております。



「今年は豊作だ！」

デイサービスの利用者の方々と皆さんと一緒に

デイサービスめく森の館の利用者の方々と一緒に初畑に植えた「キュウリ」、「ナス」は、豊作でした。「親の意見となすびの花は、千に一つは無駄もない」といった謠もありますが、その誇りあり、ナスの花が見事に咲くと、しばらくすると、ナスの実がつき、大きく成長しました。普段は、ナスの塩もみにするのが多いのですが、今年はナスの収穫量が多かったため、ナスの味噌炒めにしていただきました。



食べるものが一番

ケアハウスの皆さんは、「ごつき会」という会があって四季折々にマイクロバスに乗って遠出をしては、地元料理を採り、食事を年に数回行っています。

7月は施設内でバーベキュー。8月は、隣の市民健康館の調理室をお借りして自分たちの手作り料理の食事を開きました。

当日は、「ごつき会」から始め、献立料理も分担してつくることになり、昔取った杵柄と張り切られて、美味しい料理が食べ切れない程、テーブルに並びました。

「これから何々自分たちでつくった料理を食べたいですね」と会話弾んでいました。



本格的

「流しソーめん」いかが

今年の夏は、猛暑が続いた。食欲が衰えがち。解消するために太い青竹を半分に分けて流し具合をながめながら長さ6メートルの「流しソーめん台」が、わいわい、言いながら出来上がりました。



最初にケアハウスの皆さんが、野外に持ち出して試食会を行いました。

続いて特養新館の皆さんが揃って新館のベランダに出て召し上がられました。

「外で食べるソーめんの味は格別だ」「ひやりと喉越しが良い。これは美味しい」と大好評でした。



お誕生日おめでとう

今年度より特養では誕生祝いを、各ユニットで行っています。

当日は、心ばかりの花束とケーキも登場。温かな雰囲気の中みんなでお祝いします。また、プレゼントとして、「ご希望のところへ外出したり、外食に出掛けたりもしています。年に一度のパーティーは、どんな希望も叶えられるスペシャルデーとなります。



